

# 事業報告書



学校法人 郷学舎

# 令和2年度事業報告書

(2020年4月1日～2021年3月31日)

## 1.法人の概要

### (1)基本情報

法人名	学校法人 郷学舎	学校名	アルスコンピュータ専門学校
学校所在地 連絡先等	〒360-0046	創立	昭和63年4月1日
	埼玉県熊谷市鎌倉町1-2-4	専修学校	昭和63年3月31日認可
	TEL : 048-526-0919	法人	昭和63年3月31日認可
	FAX : 048-525-8119	理事長名	山崎 彰
	URL : <a href="http://www.arsnet.ac.jp/school">http://www.arsnet.ac.jp/school</a>	校長名	荻野 欣男

### (2)建学の精神・教育理念・教育方針

本校の教育は全ての学科・コースで『建学の精神』『教育理念』『教育方針』のもと、実施されます。『建学の精神』『教育理念』『教育方針』が本校教育の基盤であり、『ARSの教育体系』としています。

教育理念や教育方針に基づき3ポリシー（『ディプロマポリシー（DP）』『カリキュラムポリシー（CP）』『アドミッションポリシー（AP）』）が策定されています。

#### 建学の精神

「学<sup>むか</sup>に郷う 郷土の学びや」

～向学の志と実学の精神を養い、社会に貢献する人材を育成する～

#### 教育理念

「習得 Acquirement 信頼 Reliability 誠実 Sincerity」

～高度な知識・技術を有し、誠実で信頼される人材の育成～

※ARSとは「訓練・熟練によって習得される高度な技術・技能」を指したラテン語

#### 教育方針

##### (1)スペシャリストの養成

職業教育を通じて、実践的な知識・技術・資格を備えたスペシャリストを養成する。

##### (2)豊かな人間性の育成

キャリア教育を通じて、職業人として必要な責任感、誠実さ、協調性、柔軟性、倫理観を持った人材を育成する。

### (3)学校法人の沿革

年月日	事項
	<b>法人設立</b>
昭和 62 年 6 月 8 日	埼玉県私立学校審議会・事業計画承認
昭和 63 年 3 月 23 日	埼玉県私立学校審議会・許可答申
昭和 63 年 3 月 31 日	埼玉県知事認可
昭和 63 年 4 月 1 日	学校法人 郷学舎 設立
	<b>学校設置</b>
昭和 62 年 6 月 8 日	埼玉県私立学校審議会・事業計画承認
昭和 63 年 3 月 23 日	埼玉県私立学校審議会・許可答申
昭和 63 年 3 月 31 日	埼玉県知事認可
昭和 63 年 4 月 1 日	アルスコンピュータ専門学校開設(専修学校専門課程) 初代校長 高橋達治就任
	<b>校舎建設</b>
昭和 62 年 10 月 14 日	起工式
昭和 62 年 12 月 29 日	上棟式
昭和 63 年 3 月 30 日	竣工
平成 18 年 2 月 22 日	熊谷市鎌倉町 125 番地を校地として取得
平成 19 年 9 月 4 日	熊谷市鎌倉町 123 番地の土地・建物取得、校舎として検査完了
平成 22 年 4 月 1 日	熊谷市鎌倉町 125 番地の校地に学生センター建設
平成 24 年 2 月 28 日	熊谷市本町 1-149-1 の土地・建物(研究室)を取得
平成 26 年 2 月 10 日	熊谷市鎌倉町 126 番地を校地として取得
平成 26 年 6 月 2 日	熊谷市鎌倉町 127 番地、128 番地を校地として取得
平成 29 年 3 月 29 日	熊谷市鎌倉町 128 番地の校地に C 棟建設
	<b>開校</b>
昭和 63 年 4 月 12 日	第 1 回入学式挙行
平成 2 年 3 月 15 日	第 1 回卒業式挙行
平成 1 年 4 月 1 日	二代校長 戸川武三就任
平成 7 年 1 月 23 日	工業専門課程情報システム科(2 年課程)、商業実務課程情報経理課(2 年課程)、 OA ビジネス科(2 年課程)の修了者への専門士称号授与承認
平成 11 年 4 月 1 日	情報システム科コース改編／情報経理科コース改編 OA ビジネス科改称・改編
平成 12 年 4 月 1 日	三代校長 持田敬夫就任
平成 14 年 4 月 1 日	IT 総合研究科 IT 総合研究コース新設

平成 15 年 7 月 29 日	目的変更計画埼玉県知事承認（福祉保育科情報保育コース）
平成 16 年 4 月 1 日	同認可
平成 19 年 2 月 22 日	教育・社会福祉専門課程福祉保育科（3年課程）の修了者への専門士の称号授与承認
平成 20 年 4 月 1 日	四代校長 荻野欣男就任
平成 22 年 4 月 1 日	ビジネス・ベーシック科新設
平成 26 年 3 月 31 日	文部科学省「職業実践専門課程」認定(3 学科 6 コース) <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 工業専門課程                    情報システム科</li> <li>■ 商業実務専門課程            情報ビジネス科</li> <li>■ 教育・社会福祉専門課程    福祉保育科</li> </ul>
平成 28 年 4 月 1 日	ビジネスベーシック科を廃止 情報システム科コース改編 CG デザイナーCAD コースを廃止 情報システム科 プロダクトデザイナー・CAD コース(1 学年定員 20 名)とビジュアルデザイナーコース(1 学年定員 20 名)を新設
平成 29 年 4 月 1 日	国際 IT ビジネス科 国際 IT ビジネスコースを新設(1 学年定員 20 名) 情報ビジネス科コース定員改編 保健・医療ビジネスコース(1 学年定員 20 名)
平成 30 年 1 月 11 日	創立 30 周年記念式典を挙行(熊谷文化創造館さくらめいと)
令和 1 年 9 月 20 日	高等教育の修学支援新制度の対象校に認定

#### (4)設置する学科・コース等

課 程	学 科 名	コ ー ス 名	修業年数	収容定員
工業専門課程	情 報 シ ス テ ム 科	システム開発コース	2 年	4 0 名
		ゲームクリエイターコース	2 年	4 0 名
		プロダクトデザイナー・CAD コース	2 年	4 0 名
		ビジュアルデザイナー・コース	2 年	4 0 名
商業実務専門課程	情 報 ビ ジ ネ ス 科	情報ビジネスコース	2 年	4 0 名
		保健・医療ビジネスコース	2 年	4 0 名
	国際 I T ビジネス科	国際 I T ビジネスコース	1 年	2 0 名
教育・社会福祉専門課程	福 祉 保 育 科	幼児保育コース	3 年	4 5 名
工業専門課程	I T 総 合 研 究 科	I T 総合研究コース	1 年	1 0 名

## (5) 役員概要

<理事数 6名>

役職	氏名	寄附行為による選任区分	学内・学外の区分	任期
理事長	山崎 彰	第6条(3)	学内	2018年4月1日～2021年3月31日
理事・校長	荻野 欣男	第6条(1)	学内	2018年4月1日～2021年3月31日
理事	新井 公一	第6条(2)	学内	2018年4月1日～2021年3月31日
理事	大島 譲二	第6条(3)	学外	2018年4月1日～2021年3月31日
理事	山崎 靖広	第6条(3)	学外	2018年4月1日～2021年3月31日
理事	久保田 孝子	第6条(2)	学内	2018年4月1日～2021年3月31日

\* 寄附行為による選任区分

第6条(1) アルスコンピュータ専門学校校長【1人】(2) 評議員のうちから評議員会において選任した者【2人】

(3) 学識経験者のうち理事会において選任した者【3人】

<監事数 2名>

役職	氏名	主な現職	任期
監事	田代 充雄	公認会計士	2018年4月1日～2021年3月31日
	木村 美知子	特定社会保険労務士	2020年4月1日～2021年3月31日

➤ 役員賠償責任保険加入済

## (6) 評議員概要

<評議員数 13名>

役職	氏名	任期
評議員	山崎 彰	2018年4月1日～2021年3月31日
	荻野 欣男	2018年4月1日～2021年3月31日
	新井 公一	2018年4月1日～2021年3月31日
	大島 譲二	2018年4月1日～2021年3月31日
	山崎 靖広	2018年4月1日～2021年3月31日
	久保田 孝子	2018年4月1日～2021年3月31日
	他7名	

(7)教職員の概要(令和2年4月1日)

区 分	実 員		
	専 任	専任以外	合 計
校 長	1		1
教 頭 職	1		1
教 員	14		14
講 師		41	41
助 手	0		0
事 務 長	1		1
事 務 職 員	9		9
その他職員		5	5
合 計	26	46	72

## 2.事業の概要

2020年度は新型コロナウイルス感染症及び緊急事態宣言への対応で、本校の学校運営も例年と大きく異なるものになりました。授業は例年より約1か月遅れ、オンライン授業でのスタートとなりましたが、6月上旬からは徐々に対面授業も再開し、全ての授業時間数を行う事が出来ました。オンライン授業の実施にあたっては、本校では初の試みでしたが学生・保護者、教職員の協力で大きなトラブルもなく運営することが出来ました。また、オンライン授業を実施する中で、そのメリットや課題なども得る事が出来たので、今回の経験を次年度以降の教育活動にも活かしていきたいと考えています。

### (1)主な教育活動

#### ①システム開発コース

- 応用情報技術者試験や基本情報技術者試験等は試験の度重なる中止、延期で学生のモチベーションの維持が難しかった。
- コンテストではさいしんコラボ産学官主催のアイデア創出事業に2チームが参加。2年生チームが優秀賞を獲得した。
- 企業連携では例年のプレゼン指導をオンラインで実施。Web会議を使用した話し方のポイントを学習した。

#### ②ゲームクリエイターコース

- 検定試験では、1年生は12月に今回初受験となる情報活用3級を受験し、26人合格をすることが出来た。来年度はマルチメディア検定に挑戦するようカリキュラムを組んでいる。10月にWORD、EXCELを同時実施。順に20名、23名合格と検定合格目標人数に近い結果を出すことができた。
- コンテストでは、PERACONこと「ペラ企画コンテスト」にて、(プロアマ混在の587名中)51位、「Unreal Engine4 第14回ぶちコン」では入賞はなかったものの入賞一步手前の作品という形で結果発表放送内にて本校生の作品がピックアップされるなど健闘が続いている。
- 企業連携では1年生を対象に昨年講評だった「ゲームの面白さ言語化ワークショップ」の企業連携授業を12月に実施した。来年度も同様に取り組む予定である。
- 東京ゲームショウは、2020年度にはオンライン開催となったため、出展を見送った。2021年度はオンラインと実展示のハイブリッドとなったが、実展示には一般観客は入場できない状態での開催となる。また、スクールコーナーについても詳細が不明なため、今後の開催状況により検討する。

#### ③プロダクトデザイナー・CADコース

- コロナ禍による授業進捗の遅れにより、二次元CAD利用技術者試験2級は年間スケジュール上の11/8から12/3に1か月後ろ倒しで実施。1級は試験日が変更できないため予定通り実施。1級機械を受験し合格することができた。
- さいしんコラボ産学官のアイデア創出事業では1年生の1チーム(3名)が沖電気工業のワнтаイムID網の特許で参加。入賞には届かなかったが、実践的な学びの場に繋がる為、来年度は、授業に組み込む形で参加を検討する。
- 建築の授業では今年度より建築模型の製作や、Jw\_CADの実習が開始するなど、新しい取り組みが

実施できた。

#### ④ビジュアルデザイナーコース

- 産学連携として連携企業より、販促デザインツールの提案依頼を受け、クラス全員がグループに分かれ、リサーチ・デザイン制作を行った。その後、連携企業の社長・部長様へプレゼンを行い、講評を得ることにより、印刷・広告業界への知識、就職率の向上を図った。その結果今年は大手広告代理店（東証一部上場企業 東京都港区）にも内定者を出すことができ、下級生の励みにもなった。産学連携は最終的に学生の提案の一部が実際の販促ツールに採用された。
- Web 授業では専門学校 HTML5 作品アワードへ応募した。DTP 授業では創作・童話・絵本・デジタル絵本大賞に応募し、デジタル絵本大賞では、経済産業大臣賞という最優秀賞を受賞できた。夏には熊谷市階段アートで最優秀賞を受賞した。

#### ⑤IT 総合研究コース

- 後期の卒業制作では、AI の画像認識技術を応用し、マスク着用を検知するシステムを制作した。また、応用情報に 1 名合格した。少人数ながら、情報セキュリティについて、レベルの高い内容を学習する事ができた。

#### ⑥情報ビジネスコース

- 検定では、2 年生 8 名が IT パスポート試験に合格。サーティファイ WORD、EXCEL、ACCESS では 4 名がトリプル 1 級を取得した。リテールマーケティングは 7 月中止だったため、全員受験ができなかったが 2 月受験した販売業内定の 4 名は全員合格した。1 年生は昨年同様に WORD、EXCEL、J 検活用ともに 3 級を全員取得した。11 月～12 月にかけてサービス接遇、ビジネス文書、ジョブパスを実施できた。1、2 年生ともに 1 人あたりの資格平均取得数は 11 個を超えた。
- 校外学習は 8 月に予定していたボランティア体験は中止だったが、企業主体のインターンシップに積極的に参加し、学校主体も含めて全員が参加できている。また接遇実習にて実践も含めた接遇講話を予定していたが、中止となった。2 年生はマーケティング養成講座をマーケティング技法にて実施。総合実践ではビジネスプロデュースコンペティションに応募した。初参加となったが、コンテストなどの目標を作ることで意欲が湧き、創造力や開発力の向上を図った。

#### ⑦保健・医療ビジネスコース

- 2 年生は前期に実施予定だった医療秘書・医事コンピュータ・診療報酬請求事務能力認定試験などが秋以降の受験となった。医療秘書検定準 1 級 1 名、医事コンピュータ検定 18 名、電子カルテ検定 18 名、診療報酬請求事務能力試験 2 名となった。
- 1 年生は診療報酬請求事務能力試験 14 名と例年より多くの学生が合格でき、今年度から受験年度を変更した調剤事務管理士技能認定試験には 22 名が合格できた。
- 病院実習は 21 名中 17 名が 12 医療機関で実施できた。コロナ禍の関係で 3 名は実施直前で取りやめとなった。1 名は卒業研究を選択した。また、ピンクリボンデーや子育てネットくまがや、高齢者施設実習など 1 年生に予定していたがすべて中止となったが、来年度も実施を検討していく。



### ⑧国際 IT ビジネスコース

- 12月実施された日本語能力試験(JLPT)ではN3は4名、N2は3名の学生が合格。4月の時点で5名が JLPT 無資格であったが卒業時点では3名が有資格となりクラスでは17名中15名が有資格となった。内部進学は11名でN2が4名、N3が7名となり来年度中にすべての学生がN2の取得が期待できる。外部進学は4名。就職は1名。帰国困難ということでの特定活動1名。成果発表会では母国のポスターと習字の展示、母国紹介のプレゼンテーション発表会の動画を上映した。
- 特定技能の技能試験では外食業は3名、飲食料品製造業は2名が合格した。

### ⑨幼児保育コース

- 3年生は、すべての実習が終了。全員、保育士資格、幼稚園教諭免許の資格取得ができた。
- 2年生は、保育実習、教育実習が終了。

## (2)主な学生支援活動

- 高等教育の修学支援新制度をはじめ、日本学生支援機構で新たに整備された新型コロナウイルス感染症に関連した経済的支援制度を学生が積極的に活用できるよう、きめ細かな説明を行った。その他遠隔授業の実施に伴い発生する学生負担（通信料等）の支援金を全学生に支給した。

## (3)在籍管理報告

- 調査書等をもとに特別な配慮が必要な学生について事前に各担任が状況把握している。
- 過去の休退学状況を分析し、問題が発生しやすい時期をまとめ、各担任が把握しておくことで先手を打って対策を講じた。
- 今年度はコロナ禍の影響で、教員も学生も手探り状態の中でオンライン授業をスタートさせ、オンライン中はチャットやビデオ通話なども活用して学生との交流を図った。例年より約1か月遅れたが、対面授業が始まってすぐにガイダンス（校長・担任）を実施して学生の状況を把握し、関係づくりに努めた。
- コロナ禍で、学校行事をほとんど行なうことができず、またマスクの常時着用により表情が見えにくい、会話をできるだけ控える等負の要素が多くあった。その中で、各クラス内で、感染リスクを抑えながら学生間が交流できるようなクラス行事を行った。

#### (4)就職内定報告

就職内定率（令和2年度）	就職内定率（令和元年度）	就職内定率（平成30年度）	就職内定率（平成29年度）
99.2%	99.3%	99.2%	99.2%

##### <主な就職先>（令和2年度）

パシフィックシステム、トッパン・フォームズ・オペレーションズ、ジェイアールシステム・エンジニアリング、KDDI エボルバ、フジミック埼玉、NTT-ME、タイム、スターシステム、カーズ、ラディアント・ソリューションズ、ジェイテック、ハッピースマイル、エイジェック、コベルコソフトサービス、ライラックシステム、東都自動車、新和電工、太陽誘電、梅田工業、アサヒ機装、金子農機、森乳業、PFU 東日本、ネッツトヨタ埼玉、小川工業、ベルク、でんきち、カナオカグラフィア、池田製作所、吉貞、ピーアイピー、シコク景材関東、メンバーズ、ヅノー、デバイス、コスモエンジニアリング、ユーディーケー、トータルパック、ウチノ看板、ワイズサイン、ウッドイーコイケ、エムケー、ALSOK グループ、東洋ワーク、リガーレ、建築資料研究社、サクシード、青木運輸倉庫、東洋トラフィックサービス、神陽金属工業、いのうえ工務店、清藤家具製作所、高橋医科器械店、行田中央総合病院、埼玉慈恵病院、熊谷外科病院、若葉病院、佐々木病院、鈴木外科病院、くぼじまクリニック、よしおか内科こどもクリニック、はぎわら眼科、たかの眼科、荻野耳鼻咽喉科、ながの歯科、アドニス、さやかグループ、三愛学園、こもれびの森保育園、飯能元気保育園、未来サポート、児童養護施設はなこみち 他

- 都内企業の採用活動は例年と比べ1ヶ月～2ヶ月程遅れて本格化した。
- 情報系分野は Web 説明会、Web 面接を導入する企業が増え、それに対応するための指導を担当中心に実施した。
- 地元企業は会社説明会などの遅れがみられたが、求人数は例年並みだった。
- 東京からの求人数は昨年に比べ減少したが、埼玉県内の求人数については例年並みの状況だった。

### 3.財務の概要

#### ●決算の概要

令和2年度の事業活動収支差額は5,007万円の支出超過となりました。昨年度の2,527万円の収入超過に対し7,534万円の支出超過は、役員退職慰労金8,580万円の支出によるものです。役員退職慰労金を除いた場合は3,573万円の収入超過となり昨年度より1,046万円の収入増になります。

#### <事業活動収入の部>

教育活動収入計は、昨年より1,582万円増額の3億6,039万円となりました。

主な要因は、学生数の増加によるもので、学生生徒等納付金が昨年度より2,324万円の増額になっています。

付随事業収入は昨年度より380万円減少していますが、これは新型コロナウイルス感染症に関連し、5月生のコースが中止となった事が影響しています。

##### (1) 学生生徒等納付金収入

学生数(在籍者数)の増加により、昨年度より2,324万円増額の3億3,124万円となりました。

##### (2) 手数料収入

前年度と比べ54万円減少の203万円の収入になりました。

##### (3) 寄付金収入

一般寄付金で14万円の収入がありました。これは卒業記念品分の金額になります。

##### (4) 経常費等の補助金

国庫補助金は対象となるものが無かった為申請はしませんでした。県の運営費補助金は昨年に比べ17万円増額の827万円を受給しました。

##### (5) 付随事業収入

昨年より380万円減少していますが、これは新型コロナウイルス感染症に関連し5月生のコースが中止になった事が影響しています。

##### (6) 雑収入

退職金基金から資金収入の195万円が計上されています。その他の雑収入については、8万円の微増となっています。

#### <事業活動支出の部>

教育活動支出計は4億898万円で、昨年より9,103万円の増加になりました。これは人件費の役員退職慰労金8,580万円を含む8,775万円の退職金支出が主な要因となっています。

### (1) 人件費

人件費の支払額は2億7,422万円ですが、退職金の8,775万円を差し引くと1億8,647万円で前年より微増となります。内容は教職員の人員の変動によるものと、昇給による増額となります。

### (2) 経費

経費支出は、減価償却額が昨年より282万円増加になりましたが、新型コロナウイルス感染症に伴い、高校での進路ガイダンスが中止になったほか、東京ゲームショウへの出展を見合わせたことや出張旅費が減少したことにより、他の経費が273万円減少したため、昨年度より9万円の微増となりました。

## ●貸借対照表

### <固定資産・流動資産>

固定資産は前年に対し5,587万円の減少になりましたが、これは特定資産の退職給与引当特定資産5,987万円を役員退職慰労金に充当したことによるものです。有形固定資産は校内改修工事やパソコン等の機器を充実させ490万円の増加となっています。

流動資産は、昨年に比べ1,052万円減少しました。これは役員退職慰労金の支出が主な要因になっています。

### <固定負債・流動負債>

固定負債は昨年度に比べ3,642万円減少しました。長期借入金は2,655万円減少し、計画的に返済ができています。また、退職給与引当金が987万円減少しています。

流動負債は前年に比べ2,011万円の増加になりました。これは在籍者数の増加により前受金収入が1,877万円増加したことが主な要因です。短期借入金は昨年より66万円減少しています。

## ●総括

本年度は役員退職慰労金の支出により基本金組入前の当年度収支差額はマイナスに転じましたが、その要素を除外すれば学生数の増加により増収増益となっており、学校運営資金面では特に問題はない状況と判断します。